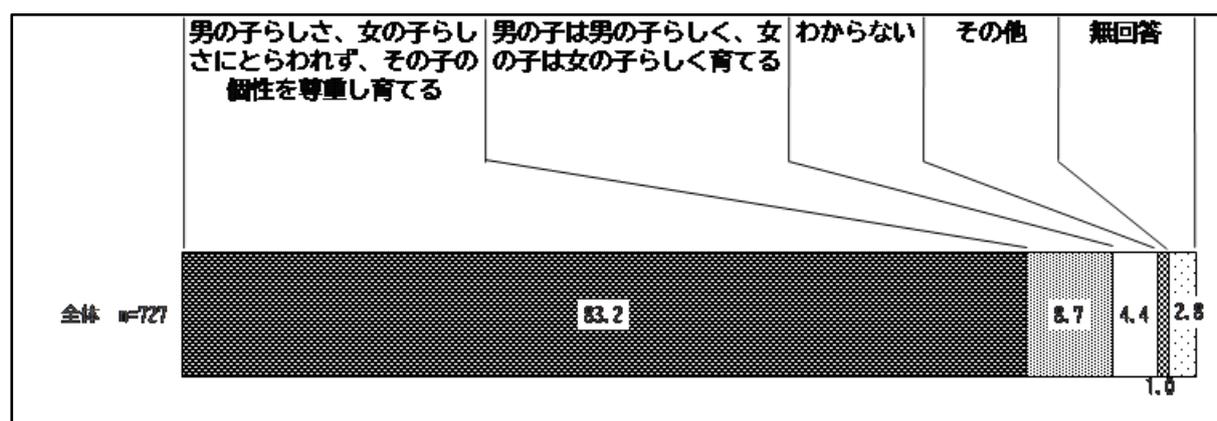


5 子どもの教育について

(1) 子育ての方針

問 21	子育ての方針について、どのように考えますか。(ご自分にお子さんがあると仮定してお答えください)
------	---

◇全体



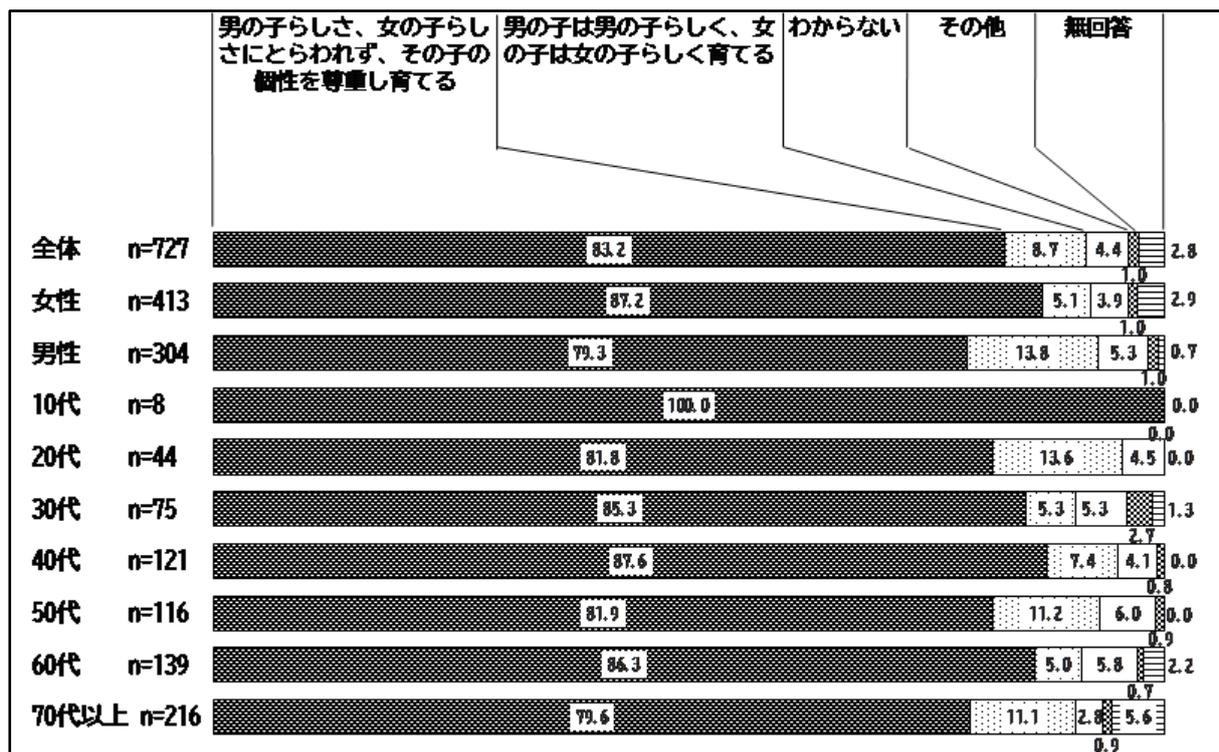
- 「男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、その子の個性を尊重し育てる」(83.2%)が最も高く、次いで「男の子は男らしく、女の子は女の子らしく育てる」(8.7%)となっている。

◇性別

「男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、その子の個性を尊重し育てる」は、女性(87.2%)が男性(79.3%)を7.9ポイント上回る。また、「男の子は男らしく、女の子は女の子らしく育てる」では、男性(13.8%)が女性(5.1%)を8.7ポイント上回る。

◇年代別

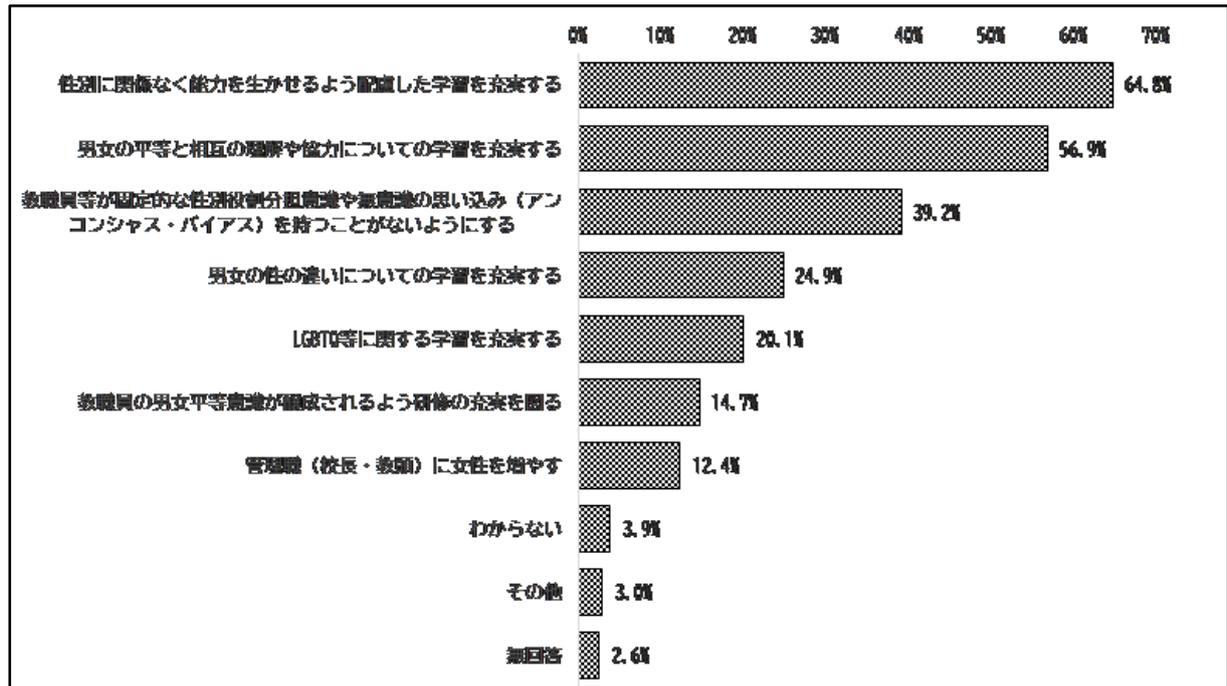
どの年代も「男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、その子の個性を尊重し育てる」が圧倒的に高くなっている。「男の子は男らしく、女の子は女の子らしく育てる」は、20代(13.6%)をはじめ、50代(11.2%)、70代以上(11.1%)と高くなっている。



(2) 子どもに対する人権や男女平等の意識の育成

問 22	次の世代を担う子どもたちに対して、人権や男女平等の意識を育成するために学校教育の場で、必要だと思うものはどれですか。(複数回答)
------	--

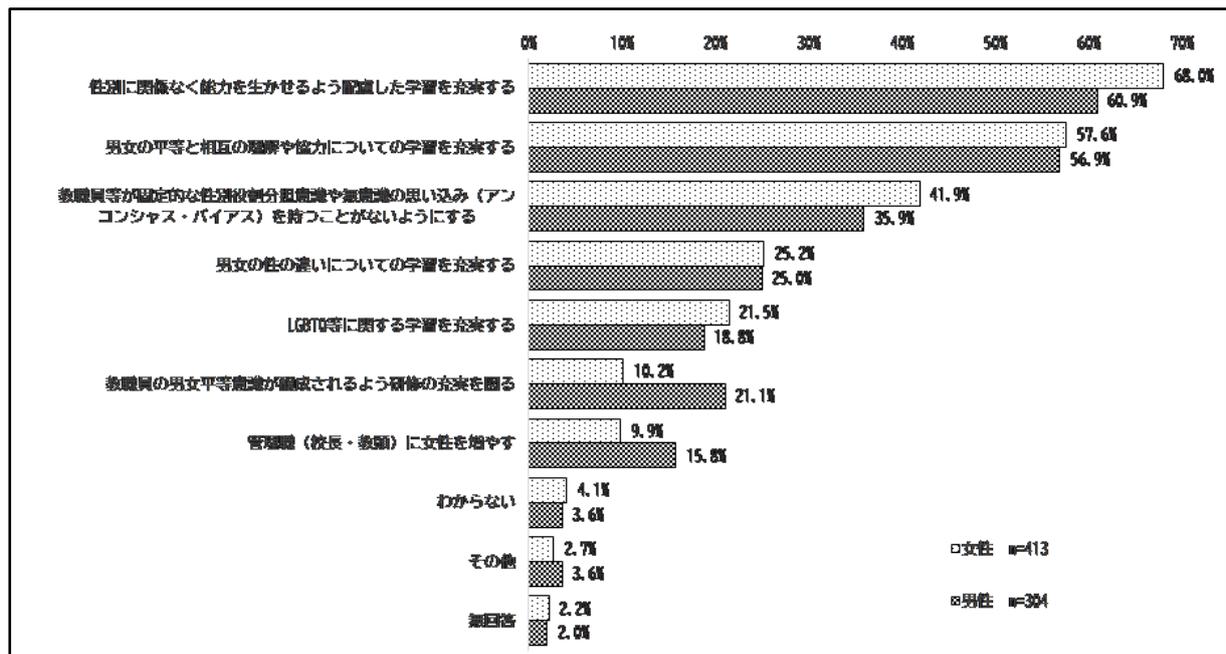
◇全体



- 「性別に関係なく能力を生かせるよう配慮した学習を充実する」(64.8%)、「男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」(56.9%)が大半を占め、以下、「教職員等が固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を持つことがないようにする」(39.2%)、「男女の性の違いについての学習を充実する」(24.9%)、「LGBTQ等に関する学習を充実する」(20.1%)が続いている。

◇性別

「性別に関係なく能力を生かせるよう配慮した学習を充実する」は女性(68.0%)が男性を(60.9%)は7.1ポイント上回る。「男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」、「男女の性の違いについての学習を充実する」は、ともに女性と男性の割合がほぼ同じである。一方、男性が女性を上回るのは「教職員の男女平等意識が醸成されるよう研修の充実を図る」や「管理職（校長・教頭）に女性を増やす」である。



◇年代別

「性別に関係なく能力を生かせるよう配慮した学習を充実する」は、10代を除く全ての年代で6割を超え、特に60代（71.9%）が高い。

また、「男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」では、60代（69.1%）をはじめ、70代以上（59.3%）、50代（58.6%）など中高年代が高い。

		合計	男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	男女の性の違いについての学習を充実する	LGBTQ等に関する学習を充実する	性別に関係なく能力を生かせるよう配慮した学習を充実する	教職員の男女平等意識が醸成されるよう研修の充実を図る	無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を持ち込めないようにする	管理職（校長・教頭）に女性を増やす	わからない	その他	無回答
全体		727	56.9	24.9	20.1	64.8	14.7	39.2	12.4	3.9	3.0	2.6
年代別	10代	8	50.0	25.0	50.0	25.0		25.0	12.5	12.5	25.0	
	20代	44	47.7	34.1	40.9	65.9	9.1	40.9	13.6	2.3	2.3	
	30代	75	41.3	28.0	30.7	61.3	13.3	46.7	16.0	2.7	6.7	1.3
	40代	121	52.9	28.1	29.8	62.8	14.9	40.5	14.0	5.0	4.1	
	50代	116	58.6	20.7	15.5	64.7	12.9	37.1	11.2	4.3	5.2	
	60代	139	69.1	22.3	19.4	71.9	12.2	46.8	5.8	2.2	0.7	1.4
	70代以上	216	59.3	24.5	8.8	64.8	19.9	33.3	15.3	4.6	0.9	5.6

◇前回調査との比較

「性別に関係なく能力を生かせるよう配慮した学習を充実する」は、今回調査（64.8%）が前回調査（60.0%）より4.8ポイント増加している。

一方、「教職員等が固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）を持つことがないようにする」、「LGBTQ等に関する学習を充実する」、「教職員の男女平等意識が醸成されるよう研修の充実を図る」等の割合は前回調査より減少している。

なお、「男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」と「男女の性の違いについての学習を充実する」は今回からの調査項目となっているため、前回調査との比較ができない。

